

松江城

島根県松江市



写真 松江城の堀川遊覧船

松江城（表紙写真^{※1}）は、城下町松江のシンボルである。松江城天守は、全国に12ある現存天守のうち、国宝に指定された5城（他は犬山城、松本城、彦根城、姫路城）のうちの一つである。

天守は、1611（慶長16）年に落成以来400年以上に渡り当時のままの姿を残す。明治時代の「廃城令」では、全国のほとんどの城が取り壊されることになり、松江城も売却される予定であった。「城が解体されれば、旧松江藩士たちの心のよりどころがなくなってしまう」と嘆いた地元の豪農家・かつべもとえもん勝部本右衛門父子と旧藩士・たかぎこんぼち高木権八らが、「天守だけでも残してほしい」と私財を投じて買い戻し、取り壊しの危機から救った。その後市民の寄附で天守の修理が行われるなど地元の人たちの支えにより現在に至る。

関ヶ原の合戦が終わって間もない頃の質実剛健な構えと実戦本位の好守に優れた設計が特色である。千鳥が羽を広げたような曲線の屋根が東西南北の四方に乗っていることから、別名「千鳥城」と呼ばれるようになったと言われている。

最上階の天狗の間からは、松江市街地や宍道湖など360度展望でき、眺望は格別である。また松江城の周囲を回遊する「堀川遊覧船^{※2}」（写真）に乗船し、水面から眺める天守も趣きがあり、春の桜や夏の新緑、秋の紅葉、冬の雪景色と四季の彩りに、黒い天守閣がよく映える。

※1）表紙写真 写真提供：ピクスタ 捕るねっと／PIXTA（ピクスタ）

※2）松江城の周囲にめぐらされた約3.7kmの堀川を約50分で一周する観光遊覧船。現在一部電動化によってカーボンニュートラル、脱炭素化を図っている。（参考：本誌P.45 行政のうごき「松江市の脱炭素先行地域の取組について」松江市環境エネルギー部環境エネルギー課）

■アクセス

- JR 松江駅からレイクラインバス利用約10分
- 山陰道松江西 IC から約10分

（表紙の写真）

松江城

場所：島根県松江市



<参考>

松江城

<https://www.matsue-castle.jp/>

松江市のSDGsの取組

https://www.city.matsue.lg.jp/soshikikarasagasu/seisakubu_SDGssuishinka/matsueshi_SDGs_torikumi_1/index.html